

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成25年2月4日	受付番号	15
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	①ホップコース (スタート枠) ② ホップコース ③ ステップコース ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ) ナガノシプレジョブヲカンガエルカイ 長野市ふれジョブを考える会		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) マルヤマ カオリ 氏名 丸山 香里		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成23年12月		
団体の 設立目的	長野市でふれジョブを実践し、子どもを真ん中にして保護者、学校、地域の企業(お店)、地域住民、ジョブサポーターがつながり合う活動を通して、誰もが暖かな気持ちで暮らせる地域社会をつくる。 ※ふれジョブとは 障害のある子どもが週に1度1時間、6ヶ月間継続して地域の企業やお店に出向き、ジョブサポーター(付き添いボランティア)と共に仕事を体験する活動		

<p>団体の 活動実績</p>	<p>【ふれジョブ実施に向けての準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 須坂市視察（定例会 3 回、保護者説明会 1 回） ・ 保護者説明会（川中島小、昭和小から 4 人の保護者が参加） ・ 学習会（須坂のジョブサポーターさんのお話を聞いてみよう） <p>【ふれジョブへの理解を広める活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係者に協力依頼（長野養護学校、稲荷山養護学校、信大付属養護学校、長野盲学校、長野ろう学校、信大教育学部） ・ 市教育委員会、市障害福祉課に協力依頼 ・ 市障害ふくしネットこども部会に参画 ・ 市社協ボランティアセンター主催「つながるかい」に参加 ・ 中小企業家同友会総会に参加（4 月 1 6 日） ・ ふれジョブ in 佐久に参加（11 月 12 日） ・ 生活中心教育研究会で説明（1 月 2 6 日） ・ 川中島地区住民自治協議会で説明（2 月 5 日） ・ FM ぜんこうじ出演（2 月 1 3 日） ・ 長野県ふれジョブの集いに参加（2 月 1 6 日） ・ ふれジョブ通信発行（2 回） <p>【川中島地区でモデルケースとしてふれジョブを実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツルヤ長野南店様にて小学生 1 名がしごと体験活動（1 0 月～2 月） ・ 定例会開催（3 回）
<p>構成員（会員）数</p>	<p>1 8 人</p>
<p>応募する 活動のタイトル</p>	<p>ふれジョブで笑顔いっぱいの地域づくり</p>
<p>応募する活動の 目的及び達成目標</p>	<p>現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的 「地域に出て自分の力を試してみたい。」という子どもの願いを保護者、学校、地域の企業（お店）、地域住民、ジョブサポーターが手をつないで受け止め成長を見守る活動を通して、地域の中に支援の輪を広げ、みんなが顔見知りになり暖かな気持ちで生活できる地域社会をつくる。</p> <p>応募年度の達成目標 川中島地区でふれジョブを発展的に実施する。（前年にモデルケースとして小学生 1 名実施。今年度は小学生 2 名・中学生 2 名から希望あり。） 他地区から希望があれば実施できる体制に向けて準備を進める。</p>
<p>応募する活動の 具体的内容</p>	<p>※実施項目、場所、対象者など 川中島地区でふれジョブを実施（小学生 2 名、中学生 2 名を予定） 他地区でも希望を募り、実施に向けて説明会を開催する。</p>

年 間 計 画	4月	しごと体験実施（2名×2回）	はじまりの会開催
	5月	しごと体験実施（2名×4回）	定例会開催 通信発行
	6月	しごと体験実施（2名×4回）	定例会開催
	7月	しごと体験実施（2名×4回）	定例会開催 通信発行
	8月	しごと体験実施（2名×4回）	定例会開催 保護者説明会開催
	9月	しごと体験実施（2名×2回）	定例会開催
	10月	しごと体験実施（4名×2回）	はじまりの会開催
	11月	しごと体験実施（4名×4回）	定例会開催 通信発行
	12月	しごと体験実施（4名×4回）	定例会開催 他地区で説明会開催
	1月	しごと体験実施（4名×3回）	定例会開催 通信発行
	2月	しごと体験実施（4名×4回）	定例会開催
	3月	しごと体験実施（4名×3回）	定例会開催
	活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 ※「公益性」の視点	<p>子ども 地域の中に知り合いがたくさんできる。 将来仕事をするための基盤が育つ。（あいさつ、時間感覚、人との心地よい関係、自己肯定感など）</p> <p>保護者 地域の人とのつながりが増え、子どもの成長を感じながら安心して楽しく子育てができる。</p> <p>地域の企業 「働く」を喜びにする風景が周囲に伝わり、企業のあり方について考えるチャンスになる。地域とのつながりが豊かになる。</p> <p>地域住民 障害に対する理解が深まる。優しさの輪が広がる。</p> <p>障害のある子どもの成長を見守る活動を通して新たな人のつながりが生まれ、障害に対する理解も自然に深まるので、この活動を重ねることで、誰もが安心して暮らせる地域社会が広がる。</p>	

<p>活動を継続するための取り組み (資金面、人材等)</p> <p>※「自立性」の視点</p>	<p>川中島地区では地域福祉ワーカーさんのご協力もあり、住民自治協議会からの要請により活動を紹介させていただくことができた。また民生児童委員の方が定例会に参加して下さった。ジョブサポーターは地区内の方をお願いしている。活動が軌道に乗ったところで地区の皆さんで運営していただける組織を立ち上げる方向で準備を進める。</p> <p>資金については活動に賛同していただける方に一口 500 円の協力金を募る。</p>
<p>翌年度以降の活動内容の概要</p>	<p>翌年度 川中島地区の方々为主体となりふれジョブを継続できる体制を作る。 他地区でもふれジョブを実施する。</p> <hr/> <p>翌々年度 ふれジョブを実施する地区を広げる。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>長野市の全地域でふれジョブを実施できるようにする。</p>

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	
謝金・賃金		
旅費交通費	36,000	
消耗品費	24,600	
印刷製本費	51,000	
広告宣伝費		
通信運搬費		
使用料		
備品購入費		
保険料	13,600	
合 計	^A 125,200円	

自己資金

名 目	金 額	
会費	12,000	
寄附金・協賛金	10,000	
参加者負担金	3,200	
事業収益金		
合 計	25,200円	

<p>補 助 金 要 望 額 (C)</p>	<p>C = A - B</p> <p style="text-align: center;">100,000円</p> <p style="text-align: center;">(千円未満切り捨て)</p>
<p>※補助割合・限度額</p> <p>【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし10万円以内</p> <p>【実践活動部門】 (スタート枠) A×0.8の金額以下、ただし50万円以内</p> <p style="padding-left: 20px;">(ホップ) A×0.8の金額以下、ただし100万円以内</p> <p style="padding-left: 20px;">(ステップ) A×0.6の金額以下、ただし60万円以内</p> <p style="padding-left: 20px;">(ジャンプ) A×0.4の金額以下、ただし40万円以内</p>	